



おがさわら

議会だより

第 158 号



南鳥島

目次

一般質問	2
議長出張報告	5
議案審議・委員会報告	6
出張報告	8
編集後記	10

今回議会視察として日本最西端の与那国町及び最東端の南鳥島に行ってきました。

与那国は小笠原と同じ国境の島であり、豊かな自然と独特の文化が残る島でした。2023 陸上自衛隊の駐屯地が開設され、有事の際の島外避難に関しても県も参加し議論されています。南鳥島は東京から約 1950km 政府関係者 25 名在島していますが一般人の立入りは禁止されています。国策としてレアアース等海底資源調査や CCS などに取り組む重要な島です。

杉田 一男

【一般質問一覧】

● 安藤重行

1. 認知症の方々に対する施策について

● 宮城ジャイアン

1. 野生生物に配慮した照明について
2. 村の映像資料の有効活用について
3. 母島沖港における陸電ケーブルについて

● 平野悠介

1. 小笠原の物価高について
2. 父島での全島停電、村の備えの結果について

● 稲垣勇

1. 外来種対策(母島のアジアベッコウマイの撲滅に向けた対策)について

● 清水良一

1. 小笠原高校の島留学の検討
2. 父教育を目的としたキャンプ活動の推進について

● 片股敬昌

1. いつまでも安心して生活できる島を目指して

母島に小規模多機能型居宅介護！ 父島に認知症対応型 共同生活介護(グループホーム)！を提案



小規模多機能型例



グループホーム例

村長・・・認知症等の介護問題はしっかりと考えて対応して行きたい！

施設入所までの道筋を作るのが大事！



安藤 重行

とは困難。現状の中で対応していく。

答 新たなサービスを整備し、進行度にあわせた仕組み、道筋を作ることとは提案どおり効果的だと考えられるが、現状新たに整備、既存事業の位置付けを変更し再整備することとは困難。現状の中で対応していく。

村長・・・認知症等の介護問題はしっかりと考えて対応して行きたい！

問 軽度認知症を重症化させない取組みが必要で、村の介護支援施策は3ヶ所に対応しているが、現状では完結できていない。認知症を入所、通所で護る仕組みがない。母島に小規模多機能型・父島にグループホームができればこの問題は大きく解決できる。そのため体制づくりの構築が必要。安全で安心して暮らせる村を作るためにしっかりと模索することが必要(提案)。

答 施設が認知症の方に適している在宅サービス・小規模な入居施設ではあるが様々な状況、現状を踏まえると設置は困難。

問 小規模多機能型やグループホーム等の施設通所や入所が必要では。

答 共生社会の実現に向けた認知症基本法を受け、地域支援事業で継続する。地域包括支援センターを中心に対応し、アルツハイマー等の認知症は医療との連携のもと、東京都健康長寿医療センターが当村を支援し相談体制を強化している。

問 高齢者は認知症に不安を感じているが、どのような方針・施策で対応するのか。

①野生動物に配慮した照明について

②村の映像資料の有効活用 ③沖港陸電ケーブルの改善



宮城 ジャイアン

① 重要地。ガイドラインを今年度中に策定予定。

② 福祉施設への提供は応相談。閲覧は可。

③ 無電柱化と合わせ予定を調整していく。

海鳥にも
島の先輩にも
船員にも優しい
づくりを！



答 荷役導線の妨げと認識。船会社が国や都に相談し、検討中。無電柱化と合わせて調整していく。村として、改善、船員負担の軽減の取り組みに協力していく。

問 ③ははじめ丸が沖港1泊の際、陸電ケーブルで港を一部封鎖となり、各船の入港が重なりと混雑する。二見港と同様に埋設できないか？

答 個人情報も多く、公開は難しい。対応できるものは今後も検討。定期放送は機材と人員の問題で難しい。福祉施設への提供は可能。電子化した資料、映像は教育委員会端末で閲覧可能。

問 ②村保管の映像資料は貴重。有効活用されていないのでは。ユーチューブ配信での硫黄島の日米合同追悼式典の映像配信は素晴らしい。もっと映像の配信、テレビ放送、施設への提供、閲覧はできないのか？

答 配慮が必要。希少鳥獣連絡会議でガイドラインを今年度中に作成する。村の街灯は配慮して随時更新中。観光として、巣立ちに合わせたガジマル点灯式を設定。大阪万博でも川上和人先生が自然と共生する取り組みとして紹介された。

問 ①以前、村はミズナギドリ類に配慮した照明など重要課題と答弁。各課どう考えるか？指針の作成は？

物価高騰

村長…価格を下げるためにどういった行動をすべきか、村でできること、都や国に要望すべきこと、それらの精査が必要。

その他の
質問

▶ 停電における対応

子供たちが将来に
わたって住める島
にしていきたい



平野 悠介

問 物価高は離島の宿命ながら、昨今の物価上昇は流石に高すぎるとの声が出ているが。

答 本土と比較をすれば物価が高くなる傾向。物価高は国全体の課題でもあり、国の非課税世帯への給付金の対応、全住民に配布する村内クーポン券の配布などの対応を本村も行っている。

問 燃料油については国のガソリン流通コスト対策事業の見直しや、軽油に対する新たな補助が必要では。

答 ガソリンや軽油といった燃料油の価格高騰も全国的な課題。全国離島振興協議会からも国に対して要望をしている。

問 米をはじめとした生活物資の値上がりも著しい。都の生活物資輸送費補助も、定期的な見直しは必要では。

答 都の担当部署と意見交換を行っている。施策として機能していると評価、今後も継続の意向。本村の物価を他地域と客観的に比較する必要がある、国や都に対して本村の物価をどう評価をしていくか意見交換を求めていく。

母島のアジアベッコウマイマイの農業被害、固有種への影響は？



環境課長…2016年10月頃に初確認。高密度で定着。

産業観光課長…農作物への直接的被害は認められていない。今後は農業被害も否定できない。

農作物への被害が心配！
すごい数で見える！



稲垣 勇

問 母島に侵入したアジアベッコウマイマイによる農業被害、固有のカタツムリへの影響が心配です。いつ頃、どのような形で持ち込まれたのか？

答 2016年10月頃、評議平グラウンド付近の都道沿いで確認した。環境省などが生息調査をし、高密度で定着を確認した。非常に繁殖力が強く、母島の固有陸産貝類や希少植物への影響、農作物への被害が懸念。環境省、都、村が各種対策を講じた。

問 現在の分布域はどの範囲まで広がっているか？

答 評議平から集落内、静沢集落、乳房ダムから大谷川砂防ダム上流域、玉川ダム周辺まで。中ノ平、蝙蝠谷農業団地、北港まで確認。

問 農業者として、農業被害が心配である。その対策は？

答 今は農作物への直接的被害は認められていない。今後、個体数の増加や生息域の拡大で、農業被害も否定できない。駆除剤の散布を実施している。

問 農業者は農作物への被害の広がりをお心配する。撲滅に向けた対策を進めてほしい。

答 現状の対策を継続し、拡散防止対策を講じていく。現在は跳躍分散した地域の局所根絶の試験と母島全域での根絶は薬剤の使える範囲なども考慮して難しいと考える。

①小笠原高校島留学の検討について

②教育を目的としたキャンプ活動の推進について

①小笠原高校存続が難しくなった時点で検討を始めるべき。

②キャンプ申請されたものについては社会教育の特例を考慮に入れ判断する。

次世代を担う子供達のこと真剣に考えましょう



清水 良一

問 高校魅力化のための支援も行っているようだが、年々高校の内地進学者が増え、人口流出の要因の一つになっている。定員割れをしているのであれば村を上げて全国から入学者を募ることは、当村の関係人口を増やすことになる。島留学検討をお願いする。

答 小笠原高校の運営に支障はないので当面の間、島外生徒受け入れはしない。

問 こどもの頃のキャンプ体験は、忘れがたい思い出の一つ、故郷での楽しい思い出が将来、帰島の大きなモチベーションになるのではないかと？教育を目的としたキャンプ活動の状況は？キャンプ活動の意義や効果は？

答 母島の小学生は平成22年度、中学生は令和元年度、高校は平成29年度を最後に実施されていない、現在小笠原小5年生だけが実施。協力することの大切さ、コミュニケーション能力、生きる力、精神力を育てる。効果は絶大。しかし指導をできる教員数の減少、教員の働き方改革による労働時間の精査等によりキャンプ体験が減っている。

問 地元根差したキャンプ等の体験学習をサポートする団体が必要。その育成のため教育や防災を目的としたキャンプの申請に対して柔軟な対応をお願いしたい。

答 社会教育に合致したものであれば許可を判断していく。村は率先しては行わない。

大腸ガンに便潜血検査が重要、島で受けられるか



医療課長…事前予約が必要だが
診療所で随時実施し
ている。

いつまでも安心
して生活できる
島を目指したい



片股 敬昌

- 問** 部位別ガン死亡で男性では肺ガンに次いで大腸ガンが2位、女性では大腸ガンが1位になっている。その要因は。
- 答** 罹患率が高いこと、ガン検診である便潜血検査の受検率が低いことなどが要因と言われている。
- 問** 受検率の低さの最大の要因は本人に自覚症状が全くないこと。症状が出てから医療機関に行くとガンが進行しているケースが多い。便潜血検査を受けている人は受けていない人に比べて死亡率が70%低下すると言われており、この検査はとても大切だ。村では便潜血検査は申し込みれば検査できるのか。
- 答** 事前の予約が必要だが、検査を受ける事ができる。
- 問** 検診、検査の大切さを実感しているが、早期発見につながる村民への案内は。私個人の失敗を申せば自分の健康に自信を持ちすぎたこと。ガンは誰でもなり得るという認識が必要。便潜血検査を決して軽く見ず、必ず受ける事。住民健診の結果説明会を利用し、ガンの早期発見に注力している。
- 答** 11月の住民健診時にガン検診を実施している。子宮頸ガン検診は産婦人科専門診療時に島内において予約制での受診が可能。ウォーキングなどの運動習慣は腸内を健康に保ち大腸ガンのリスク低下が期待できる。

議長出張報告



出張日	出張用務
3/27	小笠原を応援する会出席
3/30	日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式出席
4/7	硫黄島行幸啓参列
4/9	小笠原小学校、小笠原中学校入学式出席
5/7	東京都町村議会議長会第1回総会・議員講演会出席
5/11~13	沖縄県与那国町視察
5/14	領土・主権展示館視察
5/15~16	南鳥島行政視察
5/24~25	島じまん2025出席
5/27	全国町村議会議長会研修出席

3月27日、第11回小笠原を応援する会が開催されました。この会は、平成27年に小笠原の交通アクセス改善、小笠原の諸問題の解決を図るため設立され、小笠原村に来島歴のある国会議員を中心に構成されています。

今回は、役員の変更があり、これまで会長を務めていた

二階俊博元衆議院議員は最高顧問に、新会長には新藤義孝衆議院議員、新幹事長に金子恭衆議院議員、新事務局長に石原宏高衆議院議員が就任されました。

二階俊博最高顧問からは、「会設立以来、未だ小笠原へのアクセスは、24時間かかる定期船のみ、航空路の開設は長年の悲願であります。航空路開設実現には解決すべき諸問題は多くあるが、みんなが力を合わせて、「為せば成る」その気概をもって一生懸命努力すれば、絵に描いた餅に終わることなく、この先に明るいものが見えてくる。みんなで推進に一層力を頂戴することをおねがいしたい。」とご挨拶がありました。改めて小笠原村議会としても航空路早期開設に向け努めていくこと強く心に誓いました。

議長 池田 望

【全議案等、賛成多数で承認、可決されました。】

- 小笠原村村税条例の一部を改正する条例（専決処分）
- 小笠原村国民健康保険税条例の一部を改正する条例（専決処分）
- 令和6年度小笠原村一般会計補正予算（第7号）（専決処分）
- 令和6年度小笠原村宅地造成事業特別会計補正予算（第3号）（専決処分）
- 令和6年度小笠原村介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第4号）（専決処分）
- 令和6年度小笠原村後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）（専決処分）
- 令和6年度小笠原村生活排水処理事業会計補正予算（第4号）（専決処分）
- 令和6年度小笠原村一般会計継続費繰越計算書について
- 令和6年度小笠原村一般会計繰越明許費繰越計算書について
- 令和6年度小笠原村簡易水道事業会計予算繰越計算書について
- 職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 中ノ平自立支援農業団地条例の一部を改正する条例
- 令和7年度小笠原村一般会計補正予算（第1号）
- 財産の取得（コミュニティバス）について
- 小笠原小中学校改築工事（小学校仮設校舎）請負契約の締結について
- 洲崎新発生土置場整備工事請負契約の締結について
- 議員の派遣について
- 小笠原村議会の個人の情報の保護に関する条例

15年間、40万キロ走行した
バスの更新。村営バスを利用
しましょう！

硫黄島調査特別委員会 6月12日

杉田一男 委員長 安藤重行 副委員長

令和7年3月の委員会以降の硫黄島に関する動き、硫黄島に係る連絡会議について報告がありました。

遺骨収集帰還事業について

第1回：7月2日～16日（実施・延期・中止）

- ・日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式（硫黄島協会）3月29日 村長、議長参加 Youtube にて公開中

訓練について

FCLP訓練（5月に12日間約2,500回）、HRS訓練（3～6月に5日間）、潜水訓練（4～5月に5日間）、掃海訓練（6月に13日間）、訓練視察（東京都、小笠原村、小笠原島漁協、母島漁協計4名6月12日視察）実施。

その他

- ・行幸啓賜る
4月7日硫黄島の戦没者を戦後80年にあたって慰霊のため訪島されました。
概要御説明：村長（議長他同行）
- ・南鳥島行政視察
5月15日～16日 副村長、村議会議員8名、職員2名参加

- ・硫黄島島民平和祈念墓地公園管理事業（年6回実施予定）
令和6年度第6回：3月26日～31日 実施
令和7年度第1回：5月23日～27日 実施
第2回：7月16日～21日（予定）
- ・硫黄島訪島事業
7月31日（予定）航空機による日帰り訪島。
- ・硫黄島3島クルーズ
6月14日～15日 村立中学2年生参加。
洋上慰霊祭実施。硫黄島旧島民講演会開催。
硫黄島調査特別委員会正副委員長参加。



小笠原諸島世界自然遺産

関連する主な会議のスケジュール、小笠原村愛玩動物の適正な飼養及び管理に関する条例（飼養登録、ペット条例審議会の答申等）、村民向け普及啓発事業、世界自然遺産5地域会議について報告、質疑がありました。

○主な会議予定

- ・小笠原諸島世界自然遺産地域 域連絡会議（第1回）夏頃
- ・小笠原諸島世界自然遺産地域 科学委員会（第1回）夏頃

○ペット条例について

- ・令和6年度ペット条例審議会（第1回）3月24日開催
会長の互選、ペット条例運用状況について審議
- ・持ち込み申告及び持込制限の検討

○村民向け普及啓発事業

- ・弟島外来植物除去ボランティア
5月10日実施 参加者：27名

○世界自然遺産5地域会議

6月5日大阪関西万博催事に参加、子ども作文コンクール結果報告。

【問】母島義務教育学校小学部1名、中学部1名が選出。その選考方法は。（宮城）

令和8年度東京都予算編成に対する要望について

令和8年度東京都予算編成に対する小笠原村の要望事項の概要について報告があった。

【問】津波浸水想定地域に立地する発電所への防潮対策に対する財政支援内容について。（安藤）

令和8年度小笠原諸島振興開発事業の概算要求について

令和8年度小笠原諸島振興開発事業概算の要求内容について報告がありました。

【問】母島静沢地区村道新設整備は、新しく整備する静沢分譲予定地内か。（宮城）

住宅政策

東京都小笠原住宅個別説明会、母島沖村都住募集再開、奥村分譲地整備状況についての報告・質疑、また、村の住宅政策、今後の住宅整備について議論が行われました。

【問】母島における多世帯用住宅再募集の検討を要望してもらえないか。（宮城）

【問】静沢分譲地整備の進捗及び造成計画について。（宮城・平野）

【問】父島の東京都小笠原住宅の空き部屋の状況について。（平野）

【問】建替えは、地域優良賃貸住宅で進められているが、その家賃設定を小笠原の実情に合わせた設定とすることは出来ないのか。（平野）

【問】民間で子育て世帯向けアパート等の建設に対する支援策が必要では。（平野）



小笠原航空路開設推進特別委員会 6月12日 稲垣勇 委員長 平野悠介 副委員長

令和7年3月の委員会以降航空路開設推進に関する動きについて、第11回小笠原を応援する会開催における東京都の報告、村長から航空路開設に向けての発言。村長の陳情活動、東京都総務局行政部小笠原・国境離島担当部長等来島について報告がありました。

議会運営委員会 4月23日、5月29日、6月10日 清水良一 委員長 宮城ジャイアン 副委員長

委員長・副委員長の互選（5月9日付委員長 宮城ジャイアン、副委員長 清水良一就任）、令和7年第2回定例会の運営、継続審議等の議論が行われました。継続審議である「議会報酬改正」については、検討方針について再調査・検討し、次回議会運営委員会で決定することとなりました。

議員の成り手不足と主権者教育を考える

平野 悠介

東京都町村議会議長会主催の議員研修会に全議員で参加してまいりました。拓殖大学(元東北大学)河村講師の講義で、学識者の目線から現在の地方議会が抱える成り手不足と主権者教育に関して、ご自身が参画された「宮城県大和町 議会ゼミナール」の例を交えての講演となりました。

議員の定数削減は民意の拾い上げの機会喪失に繋がる可能性があること、民意の代理人として適切な報酬額を検討すべきとの話が印象に残りました。

小笠原村議会では現在、議員報酬の改正に向けて議論を進めています。現在の小笠原村議会の議員報酬は月額17万6千円、退職金無し、議員年金無し。皆さんは適切な報酬額はどの程度だと思いますか。

最後に三議長会(全国都道府県議会議長会・全国市議会議長会・全国町村議会議長会)では子どもたちに議会を知ってもらうため特設サイトを創設しました。フリーレンと一緒に楽しみながら学ぶサイトになっています。子供たちと一緒にQRコードからご覧になってください。



国境離島を考える～与那国町、領土・主権展示館視察～

片股 敬昌

台湾まで111km、日本で最も台湾に近い与那国町は人口約1600人、父島より少し大きい島です。視察に訪れると緑の平地に牛や馬がのんびりと草を食む平和な島でした。小笠原村と同じ国境離島の与那国町ですが、東シナ海の安全保障環境はかつてないほど緊張が高まっています。与那国町では、県や国と連携した島民全島避難の担当職員として元自衛官が活躍されており、有事に備え住民の生命を守り抜くという強い決意を感じ取る事ができました。与那国町視察後、虎ノ門にある領土・主権展示館を訪れました。ここでは北方領土、竹島、尖閣諸島が我が国固有の領土であることが歴史的資料に基づき示されています。5面CG映像で自然を体験できるイマーシブシアターは感動的でした。

今出張では与那国町の飛行場の便利さを実感しました。島民に日常の足として活用されており、改めて空港の必要性について、東京都、国に強く要望していく必要があると感じました。



与那国町視察



領土・主権展示館視察

南鳥島（マークス）視察報告

安藤 重行

今回の視察は1泊2日となり立ち入り禁止場所以外をほぼ視察させていただいた。最東端の地の碑、忠魂の碑、母島から移り住んだ島民の方の墓地、戦没者慰霊碑、亡くなられた隊員の方の慰霊碑等があり、また、国境離島の役目もあり自衛隊の方々が守って下さっている。大変感謝申し上げたい。

今回新しい栈橋ができたことでこれから、この島が大きく発展するための礎となる。港湾監視レーダーの設置状況、陸上自衛隊の12式地对艦ミサイル射撃訓練基盤整備事業予定地や希少種のアジサシ4種の繁殖時期と重なり多くの雛も確認できた。前回の時に岸壁を作るコンクリートプラントがあった所が整地され、大きな空地になっていた。今後事業が開始されるレアアース基盤整備事業の予定地になるのではと考察。隊員の方々から貴重なお話を伺う。生活面、精神面などで隊員・気象庁職員は短期任期



南鳥島視察

となるが隊長は1年任期とのこと、隊員自身が食事を作り、水は淡水化装置を稼働、飛行場の維持管理、ゴミの回収や海岸漂着ゴミ問題・熱帯地域ゆえの制限なども沢山あった。栈橋ができ燃料搬入が容易になり国境離島としての巡視船等の給油も可能になる。今後小笠原村にとっては大変有意義な場所になると確信できた視察でした。

【小笠原小学校 6 年生 議会見学 !!】

宮城 ジャイアン

今回、小笠原小学校6年生が、村議会議事堂を訪れ、小笠原村議会の見学を行いました！主権者教育の一環になります。

僕は隠岐諸島からオンラインで参加させてもらいました。同じく、母島の稲垣議員もオンライン参加でした。

これもまた現代の議会の形としても伝えれたかと思います。

子供たちは戸惑いながらも、こうして村議会では話し合いを行い、みんなで決めていくということを感じられたのではないかなと思いました。父島の小学生だけでなく、議事堂のない母島の小学生もぜひ、こうした機会を設けてもらえればなと思います。

参加した生徒たちは事前に様々な質問をしっかりと考えてきていました。

村の予算や使われ方について、議会での話し合いで決まったこと、村民の願いを叶えるのは大変か？など、するどい質問があり、議員の皆さんもしっかりと答弁していました。議長役の生徒さんの取り回し、お見事でした♪生徒のみんなが生き生きとした表情で過ごしてくれていました。

こうした取り組みが、島の子供達にとっても少しずつ議会を身近に感じてもらえて、こうして地域作りが行われるってことを、知ってもらえればと思いました！どうもありがとうございました！！



オンライン出席の様子

令和7年第3回定例会会議日程表（予定）			
月日	開始時間	会議名	内容
9月12日（金）	午前10時	本会議	会期の決定等
		決算特別委員会現地視察（父島）	
9月19日（金）		決算特別委員会現地視察（母島）	
9月25日（木）	午前10時	本会議	一般質問
9月26日（金）	午後 9時	総務委員会	議案審議等
	午前11時	硫黄島調査特別委員会	
	午後 2時	小笠原航空路開設推進特別委員会	
	午後 3時	本会議	議案審議等
10月2日（木）	午前 9時	令和6年度決算特別委員会	
10月3日（金）	午前 9時	令和6年度決算特別委員会	
	午後 3時	本会議	議案審議等

現時点での会議予定です。会議日程については変更がある場合がありますのでご容赦ください。

● 議会映像の配信について

TV 11チャンネルで中継放送、Youtube でライブ配信を行います。
過去の議会録画中継は、アーカイブ配信しています。



議会映像配信

【小笠原村公式チャンネル】

URL：<https://www.youtube.com/@boninlive5930/streams>

会議での発言内容など詳しく知りたい時は、会議録をご覧ください。

次の施設で閲覧できます。

○村役場議会事務局、地域福祉センター図書室

○村役場母島支所、母島村民図書室

また、パソコンやスマートフォンなどで見ることもできます。



会議録

小笠原村公式サイト → 議会事務局 → 会議録で

編集後記

今年は戦後 80 年の節目で、硫黄島への天皇皇后両陛下の慰霊訪問や日米合同追悼式に石破総理が出席しました。追悼式の様子は「戦後 80 年硫黄島平和への誓い」というタイトルで、小笠原村公式 YouTube チャンネルで視聴可能です。5 月には、与那国島と南鳥島の視察も行われ、国境離島と排他的経済水域を守るため、与那国には陸上自衛隊の駐屯地、南鳥島では地対艦ミサイル訓練の準備がされていました。戦争の準備ではなく平和を創造するため、平和都市宣言を掲げている当村から民主主義を発展させ、過去の過ちを繰り返さないことを誓いたいと思います。今年は東京都議会議員選挙、参議院議員選挙、小笠原村長選挙と選挙が続きます。民主主義において選挙は国民の意思を反映する重要な機会です。意見の違いは自然ですが、無関心による投票率の低下は問題です。ぜひ投票しましょう！

清水 良一

● 議会だより編集委員

安藤重行 清水良一 平野悠介 宮城ジャイアン

問い合わせ先 小笠原村議会事務局 電話 2-3118 FAX 2-3208 メール gikai@vill.ogasawara.tokyo.jp